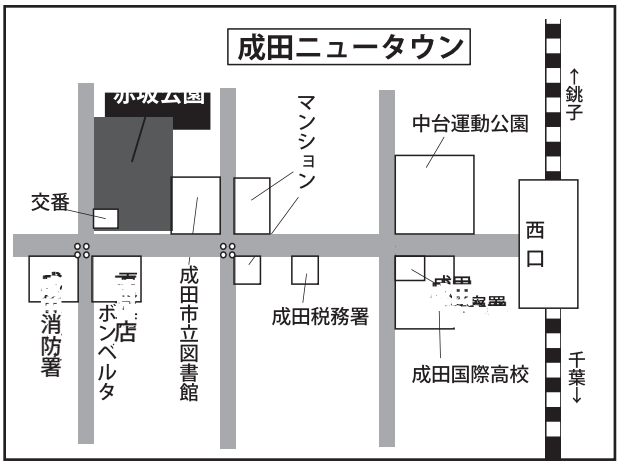
反対同盟ニュース

2016年3月13 第30号

三里塚芝山連合空港反対同盟
（連絡先）事務局長・北原鉱治　千葉県成田市三里塚１１５
Tel0476-35-0087 http://www.sanrizuka-doumei.jp/

最高裁による強制収用許すな、第３滑走路粉砕 全国集会

3・27 赤坂公園（ニュータウン）へ



【赤坂公園への行き方】ＪＲ成田駅より約２㌔。バスはＪＲ成田駅西口乗り場２番線発。①中台線～「赤坂公園」下車 ②中央通り線～「保健福祉館」下車

昨年3月29日、成田市役所下の栗山公園で開いた全国集会

空港周辺地域の住民の皆さん。私たち反対同盟は、昨年の成田市栗山公園に続き、成田ニュータウンのど真ん中・赤坂公園で春の全国集会を行います。一人でも多くの皆さんの参加を訴えます。

闘争が始まって50周年

集会は最高裁に移った市東孝雄さんの農地を守る裁判について、強制収用につながる不当判決を出させない陣形をより広く強くするものです。さらに、第３滑走路計画推進やB滑走路の 1000 ㍍延長、空港の 24 時間化の暴挙を絶対に許さない声を、周辺の皆さんそして全国から集まる皆さんと共にあげる集会です。

これらの闘いは安倍政権による戦争政治と対決する大きな中身を持っています。空港反対闘争が始まって50 年目となる節目の集会で、成田から安倍政権打倒に立ち上がりましょう。ぜひ、ご参加下さい。

安倍政権の戦争政治を打ち倒そう

最高裁による強制収用許すな！　第３滑走路粉砕！　安倍政権打倒！

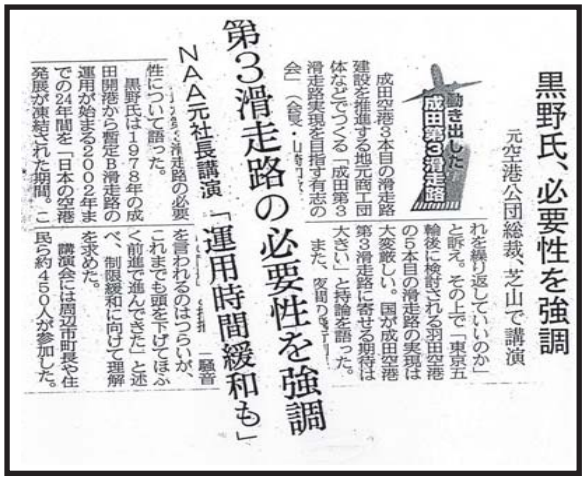
３・２７全国総決起集会

- 3月27日（日） 正午
- 成田市赤坂公園・芝生ひろば

黒野ＮＡＡ元社長講演弾劾！

「タブー破れ」と第３滑走路、深夜延長を要求

反対同盟は、黒野元社長の講演に対し宣伝カーを展開し弾劾した（２月 16 日　芝山文化会館）



黒野氏、必要性を強調

元空港公団総裁、芝山で講演

第3滑走路の必要性を強調

「運用時間緩和も」

NAA元社長講演

黒野講演を報道する新聞（２月 17 日付）

元ＮＡＡ社長で「運輸政策研究機構会長」に天下った黒野匡彦（まさひこ）氏が、石毛博道氏らの「第３滑走路実現を目指す有志の会」に招かれて、２月 16 日講演を行いました。そこで黒野氏は「今のままでは成田は負ける」。「住民の反発があっても第 3 滑走路を推進しなければならない」と強調し、さらに空港の 24 時間化について、「羽田でもタブーを破って都心上空の飛行を検討しているのだから成田でもタブーを破ってもっと夜間延長をすべき」との暴言を吐きました。断じて許せません。

「尊厳を傷つけない」との謝罪は？

そもそも住民の命を犠牲にして航空便の需要を作り出す必要などありません。黒野元社長は、2005 年に東峰区住民に対してそれまでの空港建設のやり方を謝り、「２度と皆さんの人間としての尊厳を傷つけません。住民の同意なしに新しい滑走路は造りません」と約束したのです。何というウソつきでしょう。私たちは黒野暴言を許さず闘います。

大規模合同演習による戦争挑発許すな

米韓が北朝鮮への開戦を狙う

合同演習に参加している米国の巨大空母ステニス

３月 7 日から４月末まで、米韓軍 30 万人以上を動員した史上最大規模の米韓合同演習が始まりました。これは「演習から実戦へ」も念頭においた許しがたい戦争策動です。キムジョンウン暗殺計画を含む作戦計画「５０ 15」も含まれています。成田の軍事使用につながる戦争への動きと対決しよう。

反対同盟は２万８千人の人々と共に国会包囲闘争に参加し「辺野古基地反対」を訴えた（２月21日）

辺野古埋め立て許すな
国会包囲 共に闘う

２月 21 日、反対同盟と三里塚闘争支援連絡会議は、「辺野古埋め立て反対　２・21 首都圏アクション国会大包囲」に参加しました。沖縄とともに、安倍戦争政治阻止の闘いの先頭に立つべく、反対同盟からは市東孝雄さん、萩原富夫さんらが参加し、２万８千人と合流しました。反対同盟と支援は国会図書館前に陣取り、「辺野古新基地ＮＯ」「美（ちゅ）ら海を埋め立てるな」のメッセージボードを掲げて、安倍政権に突きつけました。

市東さん署名５５２筆

一方で、市東さんの農地を守る最高裁署名を積極的に訴えました。参加者の中にはかつて三里塚現地で闘ったことがある人も多く、「三里塚」と書かれたビラやゼッケンを目にするや否や「50 年たっても続いているのか」と目を輝かせ、次々と署名に応じてくれました。若い人の中には「最近映画を見ました」と新たに三里塚闘争を知る人、署名や賛同用紙を何枚も持ち帰って集めてくれるという人も現れました。

特に、市東さんの農地法裁判第１審で反動判決を下した千葉地裁の多見谷寿郎（としお）裁判官が昨年 10 月、福岡高等裁判所那覇支部に異動し、辺野古の裁判で反動判決を狙っていることが話題になると「本当に辺野古でのやり方と三里塚のやり方というのは変わらない。安倍政権そのものを変えていかなければ問題は解決しない」と語る人が多く、反戦を掲げて闘い続ける三里塚闘争と沖縄が共に闘うことの大切さを確認しました。

大津地裁が画期的な仮処分決定
高浜原発の運転停止を命令

勝訴の決定を喜ぶ弁護団と原告住民（３月９日　大津地裁）

３月９日、福井県高浜原発の３、４号機に対して、運転差し止めを求める仮処分裁判で、大津地裁・山本善彦裁判長は、運転の停止を求める決定を行い、10 日、原発は止まりました。運転中の原発を停止させる決定は、2006 年石川県志賀原発裁判以来であり、福井県の隣の滋賀県の裁判で、原発が止まるのは初めてのことです。画期的なこの判決を勝ち取った力は福島はじめ、全国の粘り強い原発反対の取り組みにあります。

地域住民の声

成田～芝山～多古～

成田市旧下総町、同旧大栄町の住民から意見を頂きました。騒音下の住民から深夜 11 時以降の飛行増加について怒りが語られる一方、高浜原発訴訟の判決について感想を頂きました。

夜間の飛行が増えうる さくてしょうがない

旧下総町・自営業（男性）

国交省と空港会社はふざけている。騒音、落下物の危険を避けるために「移転させろ」と言っても「法律がありません」の一点張り。法律がなかったら作ればいいじゃないか。そもそもこんな内陸部に空港をもってきたことが、問題の始まりだ。行政の都合から話を始めるんじゃなくて、住民の生活から出発しろ、と言いたい。

ＬＣＣなどの夜間の飛行が野放図に拡大している。この間騒音を計ったら 84 デシベルあった。こんなことは初めてだ。こんなやり方では、Ｂランの１０００㍍延長を認める人は一人もいない。

航空便の需要なんかわざわざ造るな、ということだよ。話がさかさまだ。

高浜原発訴訟の判決、住民の粘り勝ち

旧大栄町・元会社員（男性）

３月９日の高浜原発差し止めを認める決定を聞いて本当にうれしかった。安倍政権と電力会社が、福島事故の原因が全然解明されていないのに、どんどん再稼働を強行していくのを見て、「日本はいったいどうなっちゃうのか」と暗澹たる気持ちでいたが、それの動きにブレーキかける判決だ。すべては全国各地で地道に声を上げ続ける人びとの地道な努力の成果だ。くじけてちゃいけないと、大きな勇気をもらった。

3・21 福島事故告発の映画を成田で

数々の映画賞受賞 「Ａ２－Ｂ－Ｃ」

日本在住のアメリカ人監督イアン・トーマス・アッシュさんが福島第一原発事故以降の福島の子ども達を追ったドキュメンタリー映画「Ａ２－Ｂ－Ｃ」の上映会が成田駅前のスカイタウンホールで開催されます。被災地福島における惨状を告発し、数々の映画賞に輝いています。多くの方にお勧めしたいと思います。

3 月 21 日（月・祝日）、13 時 30 分～、15 時 30 分～の２回上映。ＪＲ成田駅前・スカイタウン成田３階。15 時～ 15 時 30 分に福島の被災者・椎名千恵子さんの報告。800 円、高校生以下無料。

主催　成田「Ａ２－Ｂ―Ｃ」上映実行委員会。